

(報告) 22年度 ユーザー理解活動

公益財団法人 自動車リサイクル促進センター

2023年5月31日

《目次》

1. 2022年度 ユーザー理解活動に要した費用	・・・	P2
2. 第6回「クルマのリサイクル作品コンクール」の実施結果	・・・	P4
3. ニュースリリースの配信結果	・・・	P7
4. 運転免許センターの協力を得た情報発信	・・・	P8
5. 音・映像による関心を得るための活動	・・・	P9
6. 「子どもメッセージカー」の卒業式を実施	・・・	P10

1. 2022年度 ユーザー理解活動に要した費用

ユーザー理解活動に要した費用は、**21,060万円**（執行率：80.4%）であった。

- 常設展示中の「メッセージカー」撤去に伴うイベント内容の見直しによる活動費減少、およびウェブページに導入した「自動車リサイクルの実績を視覚的に把握できる機能」の要件を見直したことによる製作費減少（下表# 1、# 5）。また、競争入札による調達価格少、および想定より新型コロナの影響を受けなかったことによる活動費減少（下表# 2）。
- 若年層向けの見学会開催に関する実務等が増えたことによる活動費増加（下表# 3）。

＜ユーザー理解活動に要した費用の内訳＞

（単位：万円）

#	取組みの目的	施策例	年度 計画額①	年度 決算額②	執行率 ②/①
1	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 地域ユーザーの知る機会の創出 ➤ 地域ユーザーの認知拡大・関心喚起 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域イベントへの出展・参加 ▶ 常設展示施設での普及啓発 	2,450	1,146	46.8%
2	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 小学生の学びの機会の創出 ➤ 小学生の保護者・教育関係者の認知拡大・関心喚起 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 関係者の努力・工夫を紹介 ▶ 学校教育に役立つ情報を提供 ▶ 作品コンクールを開催 	7,250	5,260	72.6%
3	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 若年層の知る機会の創出 ➤ 若年層の学びの機会の創出 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 自動車教習所での普及啓発 ▶ 関係者の努力・工夫を紹介 	2,750	2,908	105.7%
4	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 各施策の相乗効果を高める取組み ➤ 音や映像による認知拡大・関心喚起 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ニュースリリースの積極配信 ▶ その他のパブリシティ活動 	0	0	-
		<ul style="list-style-type: none"> ▶ メディアを通じて音源・動画の配信 	10,680	10,434	97.9%
5	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 透明性の確保、発信情報の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 公式ウェブページ等の制作・改善等 ▶ チラシ・ポスター等の制作・増刷等 	2,970	1,228	41.3%
6	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 自動車リサイクルの現状や実態の変化等を把握 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ユーザーの認知状況の把握 他 	100	84	84.1%
合計			26,200	21,060	80.4%

#	主要な施策とその実績（まとめ）
1	<ul style="list-style-type: none"> ● 全国地域イベントでの取組み： <ul style="list-style-type: none"> ・地域イベント13か所に出展を通じて広く普及啓発を実施。（内訳：リアル出展9か所、オンライン出展2か所、パネル展示2か所） ● 常設展示施設での取組み： <ul style="list-style-type: none"> ・東京・大阪の施設を活用し、来場者への普及啓発を実施。（内訳：東京年307,835人、大阪年50,343人） ・3/15 大阪の施設で展示していた「子どもメッセージカー」の撤去に伴い、関係者列席の下で卒業イベントを開催。 ● 運転免許センターでの取組み <ul style="list-style-type: none"> ・運転免許センター（熊本、福岡、愛知、群馬）の4か所の協力をいただけることが決定。今後、これらを活用し広く普及啓発を実施予定。
2	<ul style="list-style-type: none"> ● 小学生とその保護者等を対象とした学習支援等： <ul style="list-style-type: none"> ・第5回作品コンクールで受賞した小学校2校に対して個別訪問表彰を実施。 ・小学生等を対象にした自動車リサイクルの現場見学会（製造・販売・オークション・整備・解体・破碎）を6回実施。 ・現場の取組を紹介した企画記事を小学生新聞等約144万部展開。また、全国小学校等に延べ3万か所配付。 ・第6回「クルマのリサイクル作品コンクール」を主催。全国から190団体、7,011件の作品を受領。 ・自動車リサイクルの関係者とともに入賞作品を審査・決定。3/27、入賞者を対象とした表彰式を開催。 ● 若年層を対象にした普及啓発の施策： <ul style="list-style-type: none"> ・運転免許学科教本に自動車リサイクルに関する情報を約75万部掲載。自動車教習所大手230か所で動画を約490万回配信。 ・若年層を対象にした自動車解体現場の見学会を4回実施。
3	<ul style="list-style-type: none"> ● メディアを利用した各施策の相乗効果を高める取組み <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な情報発信の一環としてニュースリリースを合計26回配信。当該情報がネットメディアに1,458件転載。 ・自動車リサイクルに関する訴求点を地上デジタル放送およびBSデジタル放送で 1,028 回、関東エリアではラジオ放送で 273 回配信。 ・週刊東洋経済（約9万部）およびソトコト（約 10万部）を用いて自動車リサイクルに関する企画記事を制作・掲載。 ・Google、Yahoo！等のネットメディアを活用し、「自動車リサイクル」に関する情報が約84万件表示。 ・第6回「クルマのリサイクル作品コンクール」表彰式の入賞結果を全国紙と地方紙を合わせて約1,184万部展開。
4	<ul style="list-style-type: none"> ● 公式ウェブサイトを活用した情報発信と改善 <ul style="list-style-type: none"> ・年間通じてタイムリーに自動車リサイクルに関する情報を発信。公式ウェブサイトへのアクセス数は年間815千件。 ・新たに「Googleカスタム検索エンジン（無料版）」を導入し、自動車リサイクルに関する情報を探索しやすく改善。 ・10/3「自動車リサイクルの実績を視覚的に把握できる機能」をウェブページに導入。
5	<ul style="list-style-type: none"> ● 各種ユーザーニーズの把握 <ul style="list-style-type: none"> ・ユーザーを対象としたアンケート調査の結果、自動車リサイクルに関しての認知度は約73.3%。 ・地域イベント 13 か所で来場者を対象にアンケート調査を実施し、合計 8,959 件の回答を回収。 ・自動車の運転免許教習生を対象にアンケート調査を実施し、合計 1,820 件の回答を回収。

2. 第6回「クルマのリサイクル作品コンクール」の実施結果 その1

全国から**7,011件**（前年度7,995件）の作品を受領。
自動車リサイクルの関係者とともに入賞作品を審査・決定。表彰式を3/27に開催。

1. 入賞結果

※入賞者の情報は次のURL参照：https://www.jarc.or.jp/competition_count/contest2022result/

(1) 最優秀賞



北海道札幌市立資生館小学校3年
縄 乃々香

**未来まで
クルマと資源を
バトンパス**

東京都世田谷区立烏山小学校4年
堤 夏歩子

(2) 小学生新聞賞



愛知県稲沢市立国分小学校5年
中山 薫

**リサイクル
しやすい車は
技術の象徴！**

兵庫県尼崎市立七松小学校6年
多田 憲太

2. 第6回「クルマのリサイクル作品コンクール」の実施結果 その2

(3) 審査員特別賞



中津市立和田小学校5年
山本 ゆ芽



春井市立玉川小学校5年
梅田 明佳



土浦市立真鍋小学校2年
小島 虎徹



かつらぎ町立笠田小学校5年
尾西 彩芽

**エアバッグ
すてきなバッグに
カムバック!**

武蔵野市立境南小学校5年
宗 凜太郎

**車たち
大事な資源の
宝箱**

田川市立伊田小学校5年
権藤 清奈

**リサイクル
新たな資源に
ギアチェンジ**

東広島市立郷田小学校4年
藤代 結吏

**つかえるよ
さよならじゃない
ぶひんたち**

大熊町立学び舎ゆめの森1年
齊藤 佳玲奈

2. 第6回「クルマのリサイクル作品コンクール」の実施結果 その3

(4) 団体賞

武蔵村山市立大南学園第七小学校
江戸川区立南篠崎小学校
伊丹市立天神川小学校
新座市立東北小学校
東広島市立郷田小学校
小牧市立村中小学校
守谷市立黒内小学校
倉敷市立老松小学校
王寺町立王寺南義務教育学校
船橋市立小栗原小学校

(5) 団体特別賞

曾於市立財部南小学校
大館市立成章小学校
四万十町立北川小学校

2. 表彰式の実施状況

3/27、表彰式を開催した。

※表彰式の様子は次のURL参照：<https://youtu.be/eHs3nZs4lvo>



表彰後の集合写真



作品への思いを紹介



作品への思いを紹介



作品への思いを紹介



作品への思いを紹介

3. ニュースリリースの配信結果

ニュースリリースを**26件配信**し、当該情報がネットメディアに**1,458件転載**。

(参考) インターネットメディア例

毎日新聞、朝日新聞、四国新聞、京都新聞、奈良新聞、山形新聞、福井新聞、沖縄タイムスプラス、紀伊民報、千葉報、宮崎新聞、新潟報、茨城新聞、徳島新聞、福島民友、紀伊民報、山梨新聞、河北新報、上毛新聞、秋田魁新報、下野新聞、週刊女性PRIME、AFP BBNews、楽天 NEWS、Google ニュース、Impress Watch Headline、excite ニュース、J-CAST ニュース、他

ニュースリリース (一例)

配信	内容	掲載数 (件)	広告換算* (万円)
1	4/8	1,458	38,627
2	4/18		
3	4/25		
4	4/28		
5	5/20		
6	6/29		
7	8/1		
8	7/27		
9	8/1		
10	8/5		
11	8/24		
12	8/19		
13	9/1		
14	9/16		
15	9/29		
16	10/5		
17	10/12		
18	10/14		
19	10/19		
20	10/27		
21	11/16		
22	11/25		
23	12/5		
24	12/6		
25	12/22		
26	12/23		

*メディアに記事掲載された際の露出効果を、同じ枠を広告として購入した場合の広告費に換算したものと見なす。

4. 運転免許センターの協力を得た情報発信

新たに熊本県、福岡県、愛知県、群馬県の4か所の運転免許センターから情報発信の協力をいただけることが決定。今後、自動車運転免許を取得または更新するユーザーに対して、より広く普及啓発活動を展開していく。

新たに協力を得ることになった拠点

エリア	拠点	来場者/年
群馬県	群馬県総合交通センター	約23万人
愛知県	東三河運転免許センター	約18万人
福岡県	福岡自動車運転免許試験場	約30万人
熊本県	熊本県運転免許センター	約18万人
合計		約89万人

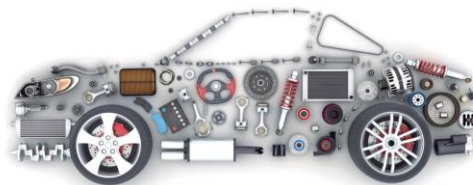


配信
コンテンツ例

循環型社会の実現へ



自動車リサイクル促進センター



自動車は資源のかたまり！
使用を終えても価値があります！
まだまだ使える部品もたくさんあるよ！



みなさんに支えられて自動車のリサイクルが成り立っています！

5. 音・映像による関心を得るための活動

自動車リサイクルに関する訴求点を地上デジタル放送およびBSデジタル放送で**1,028** 回配信し、さらに効率的に自動車ユーザーに情報を届けるべく、新たに関東地域でラジオ放送**273** 回配信。これらの配信により、延べ約**2億5,339万人**の自動車ユーザーに情報を届けた。

(1) 音・映像の配信計画

配信エリア	区分	配信期間	放送局、配信帯	延べ接触者数 (想定値)
全国	BS	4月から3月	BSテレビ東京、経モーニングプラスFTで配信 平7時の時間帯	6,621万人
関東除く全国	地上	8月	各都道府県における放送局1局又は2局で配信 6時から26時までの時間帯	1億2,158万人
関東	ラジオ	8月から9月	エフエム東京・TBSラジオ・ニッポン放送で配信 6時から26時までの時間帯	6,560万人



配信動画

「自動車リサイクル 地球もクルマも回ってる」編

(2) ラジオ配信用の音源を新たに制作

全世代が知るポピュラーなメロディーを用いることで、記憶に残りやすい音源を2種類制作。

- ① 『自動車リサイクル 駆け巡る資源』篇 :
運動会の徒競走を連想させる曲調を採用。
運動会のトラックを駆け巡る様子にリサイクルの取組みを重ね合わせた。
- ② 『自動車リサイクル 地球も資源もくるくるまわる』篇 :
馴染みのあるワルツの曲調を採用。
みんなで手を取り合って循環型社会を築いていく様子を描いた。

インターネット・スマホアプリで聴けるラジオ「radiko」でも配信中
※radiko利用者約890万人の内、約46%の聴取者が関東地域

(音源)

* 音量には気を付けて再生してください



<https://www.youtube.com/watch?v=nVaZweGPxNk>



<https://www.youtube.com/watch?v=AQNqYuHdVJg>

6. 「子どもメッセージカー」の卒業式を実施

3/15、おおさかATCグリーンエコプラザ（所在地：大阪市）で、「子どもメッセージカー」の卒業式を主催。

3/15、おおさかATCグリーンエコプラザにて、「子どもメッセージカー」の卒業式が行われた。

同施設では、2020年3月から3年にわたって「子どもメッセージカー」を展示し、自動車リサイクルの大切さを伝えるために活用。

「子どもメッセージカー」には、将来の地球環境、資源循環、リサイクルの大切さや、これまで一生懸命に頑張ってきたクルマへの感謝の気持ちなど、**1,500を超える子どもたちの大切な思いが詰まっている。**

今後、「子どもメッセージカー」は子どもたちの思いを大切に、リサイクル処理が行われる予定。

※卒業式の情景は次のURL参照：https://youtu.be/hX_Z3eAiXTA



卒業式の様子



2019年開催のエコプロでの「メッセージカー」の様子

まとめ

1. 22年度活動の主な成果

- 小学生等向けの現場見学会及び新たに試行した若年層向けの現場見学会（計10か所）では、合計313名の参加者に学びの機会を提供した。さらに、事前に行ったメディア誘致により、見学会の様子がSNSを含む様々なメディアで取り上げられ、広く普及啓発に繋がった。

また、小学校児童向けの出前授業を3か所で試行し、合計219名の児童に学びを提供した。この取り組みにより「自動車リサイクル」の学びがSDGsを体現する場になることをあらためて確認した。

- 新たに運転免許センター4か所から情報発信の協力を得ることが決定し、年約89万人の来場者を対象にした情報発信が行えるようになった。

2. 23年度活動の方向性

- 小学校児童向け出前授業を改善・拡大し、新たに公立図書館等に図書を常設するなど、学びのスキームを整備することで、「自動車リサイクル」の学びに貢献する。また、若年層向けの見学会等のスキームを改善し、循環型社会の実現に向けた自動車リサイクルの取組みに関心を持ってもらうことを目指す。

これら施策を実施する際には、積極的にメディアを誘致し、メディアに関心を喚起することで広く普及啓発に繋げる。

- 「自動車リサイクル」に関する情報への接触機会をさらに増やすため、これまでの地域イベントへの出展や環境施設の活用に加えて、運転免許センターや高速道路サービスエリアも情報発信の拠点として積極的に活用し、その拠点を拡大する。これにより、より多くのユーザーに「自動車リサイクル」に関する情報を届ける。